



美作市議会 田村秀昭 活動報告

持続可能な美作を田村秀昭と創る会 No.4 令和4(2022)年4月1日発行 討議資料

桜咲く季節になりました。日差しが日ごとに力強くなり、暖かな日も多くなりました。肌寒い日もありますが、お出かけを楽しみましょう。あれから1年。昨今の今頃は選挙でした。おかげさまで1年、議員として活動させていただきました。増々お役に立てますよう努めて参りますので、ご指導をお願いします。

発行:事務局 美作市湯郷 323-8 0868-72-5621 (TEL&FAX) hidetamuraexpert0528@yahoo.co.jp

議会活動等報告

- 1月5日 議会運営委員会
- 1月8日 武蔵武道館稽古始
- 1月12日 臨時議会
- 1月14日 議会改革特別委員会
美作市誘致進出企業
協会新年互例会
- 1月17日 3月議会一般質問受付
- 1月19日 湯郷温泉旅館協同組合
新年互例会
- 1月20日 ヒガシマル運輸
企業立地調印式
- 1月25日 議会運営委員会
- 2月1日 3月定例議会開会
- 2月3日 一般質問(通告4番)
- 2月4・7日 一般質問・議案質疑
- 2月8日 美作市農業再生協議会
美作市鳥獣害対策協議会
- 2月16日 産業建設常任委員会
- 2月17・21日 予算審査特別委員会
- 2月21日 議会運営委員会
- 2月25日 3月定例議会閉会日
産業建設委員長報告

無理をお聴きします。無茶はお断りします m(__)m。

- ①I地区の緊急避難場所である公会堂の雨漏りについてご相談を受ける。修繕から5年経っていないので、市からの補助はないと。裏面の一般質問欄にも記載しましたが、**避難所**の避難所たるゆえんの必要性を訴え、継続交渉してゆきます。
- ②O地区の側溝が埋もれ、自宅の浸水が懸念される。改修工事の依頼を受ける。建設課で確認すると、要望書は受け取っているようなので、予算化できるように交渉し、実現へ向けての動きに努めて参ります。
- ③湯郷の観光施設経営者が新たな観光施設の開設へ向けての準備をされている。また、ある宿泊施設の方が改修工事を予定したいとの相談。令和3年度の観光庁の「**観光拠点再生計画**」事業の採択の例もあり、観光政策課と相談しながら改めて4年度の事業獲得に向けての準備に入ります。4月には希望される事業者の皆様への説明会ができるように進めてゆきます。



- ④コロナ禍の影響を受け始めて2年以上。湯郷の観光施設、旅館・ホテル、飲食、運輸など観光産業は疲弊しています。美作文化センター、空き家・廃屋やバイオマス問題を含めて、**湯郷のグランドデザイン**を描く時機が来ています。30年後の湯郷のあるべき姿を市民全員でベクトルを合わせて考えましょう。
- ⑤台湾のCPTTP参加を支援しようという意見書を提案しました。美作市として議決しましたが、単市で応援しても意味がないという意見もあります。アフターコロナを考えるとインバウンドのみならず、教育や社会課題に係る解決策の糸口になると思っています。今後の動きにご注目ください。どんな田舎でも**世界と繋がっています**。

会議・イベント等への参加

- ・湯郷自治会定例会議
- ・湯郷しらさぎの会
- ・湯郷温泉女将の会
- ・湯郷3館会議
- ・塩垂山稲荷初午祭
- ・平福自治会総会 など

<1月臨時議会(1月12日)の報告>

一般会計補正予算(第10号)の議案を審議し、質疑を経て承認しました。内容は、「住民非課税世帯等に対する臨時特別給付金」・「子育て世代への臨時特別交付金」の給付に関してでした。コロナ禍で一時的に収入が減り、非課税レベルに落ちた家庭の支援策です。市民への広報の仕方などが不十分で、不明瞭なことが多いので十分注意して進めるよう執行部に要請をしました。長引くコロナ禍ですが、我慢の時間が続いています。雨のち晴れ、暗い夜道にも夜明けは来ます。On the sunny side street. (from カムカム)

3月定例議会（2月1日～2月25日）＜報告＞

2月3日 通告番号4番、一般質問一日目に下記の質問をしました。

美作市議会では、これまでは議員の発言時間が45分許されていました。県内他市町村の事例調査によると、美作市は持ち時間が一番長く、30分が適当ということになりました。コロナ禍の中での開催であることや、短時間で要点を得るような議会改革も含めて試行しました。一部議員が時間切れになった例がありましたが、質問数を減らしたり、質問前の口上をなくすなどで、30分の発言時間で十分であろうという結論に達したようです。因みに私の発言時間は15分。答弁を含めた登壇時間は50分でした。最長は30分発言、71分登壇。最短は発言6分、登壇17分でした。これからも**明瞭で核心を突く**一般質問を目指します。

＜質問内容&答弁概略＞

①岡山湯郷ベルの来季（令和4年度）へ向けた支援と現状について

湯郷の皆さんにとっては気になるテーマで、6月の初登壇以来の2度目の質問です。

第3者委員会が設置され、発足以来の法務・会計など多岐にわたる検証が行われていますが、その報告は2月末に行われるという答弁でした。美作市としては令和4年度も**2,200万円の補助金**（内300万円は岡山県から）を予算化しており、変わらぬ支援をします。ベルの年間収入の50%以上にあたり、**市民一人当たり@830円の負担**となります。市民の皆様には・ベルの会員になる・試合会場で応援する・グッズを購入する・普段から声をかけてあげるなど応援の仕方は様々ですが、ぜひお願いします。また、経営陣である**理事の人選**をしており、増員計画があります。3月26日の開幕までに新体制を発表し、**新生湯郷ベル**として動き始めます。事務所も湯郷温泉の街中に移転しようと物件を探しています。再生検討委員会に市職員が深く入り、美作市の意思を反映できるよう、これまでとは違う動きをしています。滋慶学園との連携で下部組織の強化をし、ホームゲームでのサッカー教室の開催など、**市民との接点を増やす**工夫に努めていく予定です。美作市民の全員に応援していただける、**夢と希望の星**となるようなチームを目指していただきます。

②指定緊急避難所の実情について

I地区の指定緊急避難所である公会堂の雨漏りの修繕問題からの質問です。公会堂の一部修繕を終えて暫くすると、雨漏りが発生したと。修繕補助の申出をすると、一物件につき**5年に一度しか補助はできない**から地域で賄えという対応。戸数も少なく、年金生活の方々の多い地区で施設修繕のための費用捻出は厳しいという切実な問題でした。

指定緊急避難所の役割を考えたときに、受益者負担という考え方を乗り越えた対応策を考慮してほしいと要望したものです。避難所には学校、公民館、コミュニティなど多様な型式があり、それぞれ所管部署が違います。それらを統括してゆくの



危機管理室の役割であり、市民の安全・安心を担保するためには柔軟で適切な対応を求めました。コロナ禍の影響を受け、その対応のための備蓄品の準備も含め、装備や備品、避難誘導の対応についても確認をしました。**残念ながら十分な答弁をいただくまでには至りませんでした**が、継続的に交渉をしてゆきます。なお、避難所の改修補助のみならず、耐震診断や防犯灯、防犯カメラなどについてのご要望も受け付けていますので遠慮なく市役所にお問い合わせください。

また、新市庁舎隣接地域に**防災公園が新たに必要なのか**と質問しましたが、その役割等について丁寧な答弁がありました。廃校跡や市所有の土地なども、地域ごとに被災者としての立場での防災公園の機能は必要だが、コントロールタワーとしての機能を持たせ、かつインターチェンジ付近の立地を生かした物資輸送などの基地としての支援者の立場を確保する必然性があるというものです。**広報みまさか2月号にも記載があります**のでご参照ください。

＜産業建設委員長報告＞ 令和3年度一般会計補正予算（第11号）など4議案の審議結果を報告しました。全ての議案を全委員が賛成し、執行部の提案を承認しました。コロナ禍の影響により物資調達が遅れ、事業進捗遅延により令和4年度への繰越事業もありますが、不可避の事情故にやむを得ないという判断です。本会議において承認されました。